

# グラフで見る東海経済(2023年8月)

2023年8月29日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

# 今月の景気判断 ～持ち直しの動きがみられる

## 【今月のポイント】

- 東海経済は、持ち直しの動きがみられる。
- 6月の生産は前月比+7.1%と2ヵ月ぶりに増加し、持ち直しの動きがみられる。
- 7月の自動車の輸出数量は前年比で26.4%増加。このところ高水準となっている。
- 個人消費は、物価上昇の影響が懸念されるが、ウィズコロナの定着により持ち直しの動きがみられる。

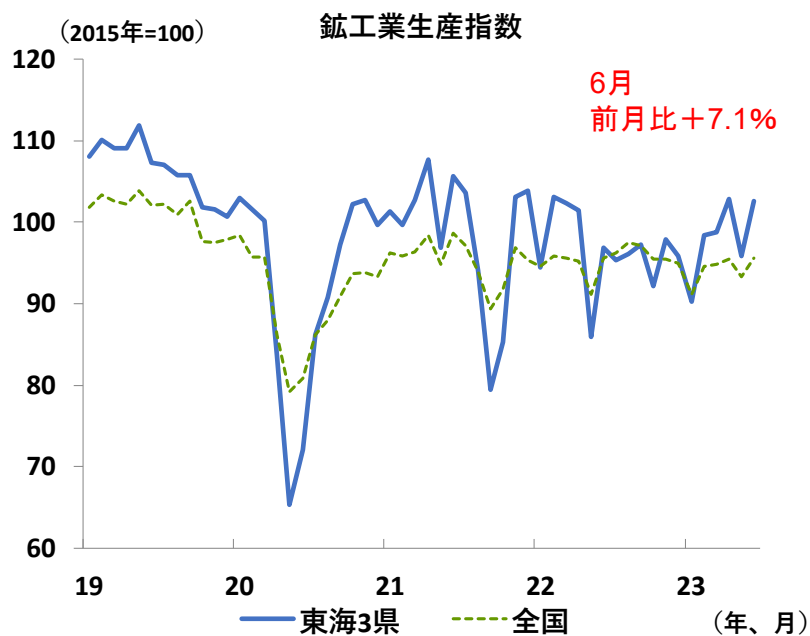
項目	現状
景気全般	持ち直しの動きがみられる
生産	持ち直しの動きがみられる
輸出	持ち直しの動きがみられる
設備投資	持ち直している
雇用	持ち直しの動きが鈍化
賃金	持ち直しの動きがみられる
個人消費	持ち直しの動きがみられる
住宅投資	弱含んでいる
公共投資	例年並みの水準となっている(↓)

注: ( )内は前月からの変化の方向

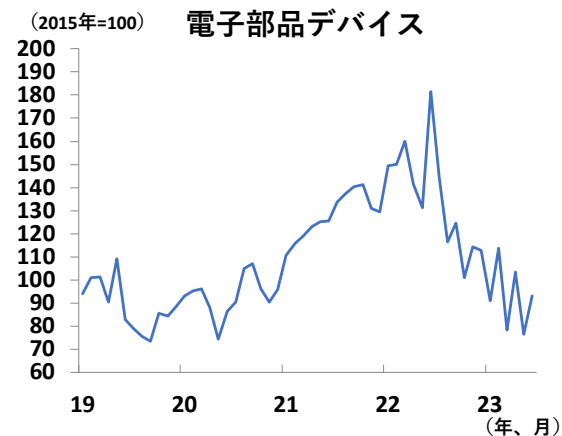
公共投資は、「高めの水準」から下方修正(↓)

# 生産

6月の鉱工業生産(東海)は前月比+7.1%と2ヵ月ぶりに増加し、均してみると持ち直しの動きがみられる。輸送機械、汎用・生産用・業務用機械など主要業種が増加した。

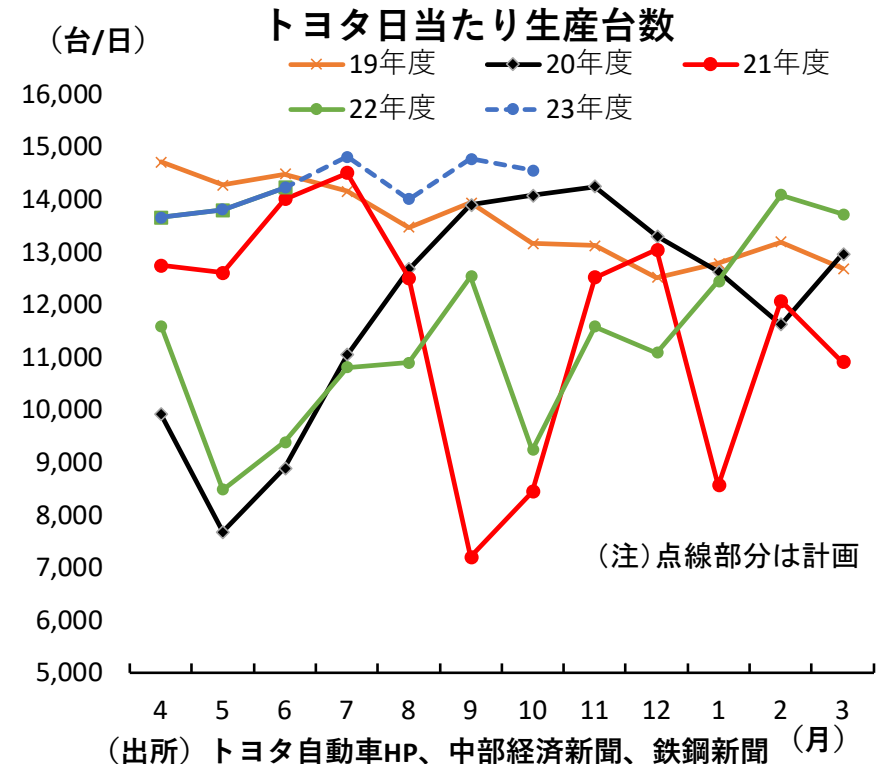
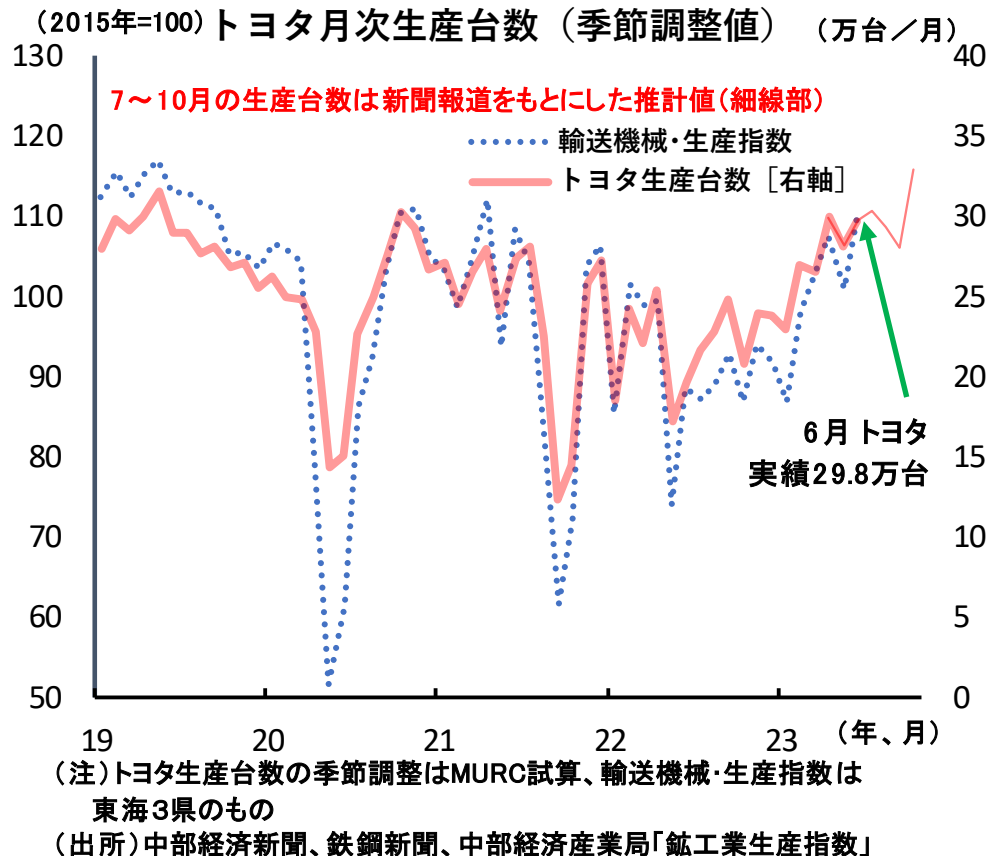


(出所)経済産業省「鉱工業生産動向」



# 生産（トヨタ国内生産）

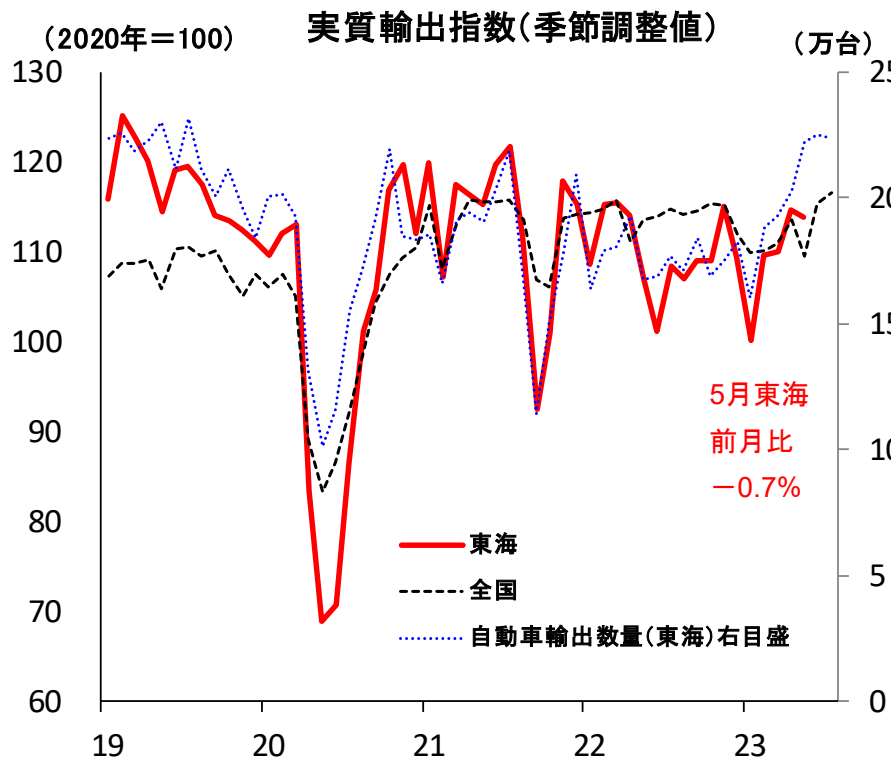
6月のトヨタ生産台数(弊社季節調整値)は29.8万台と前月から増加した。先行きは、車載半導体の安定調達には不確実性が残るものの、持ち直し基調が続くと見込まれている。



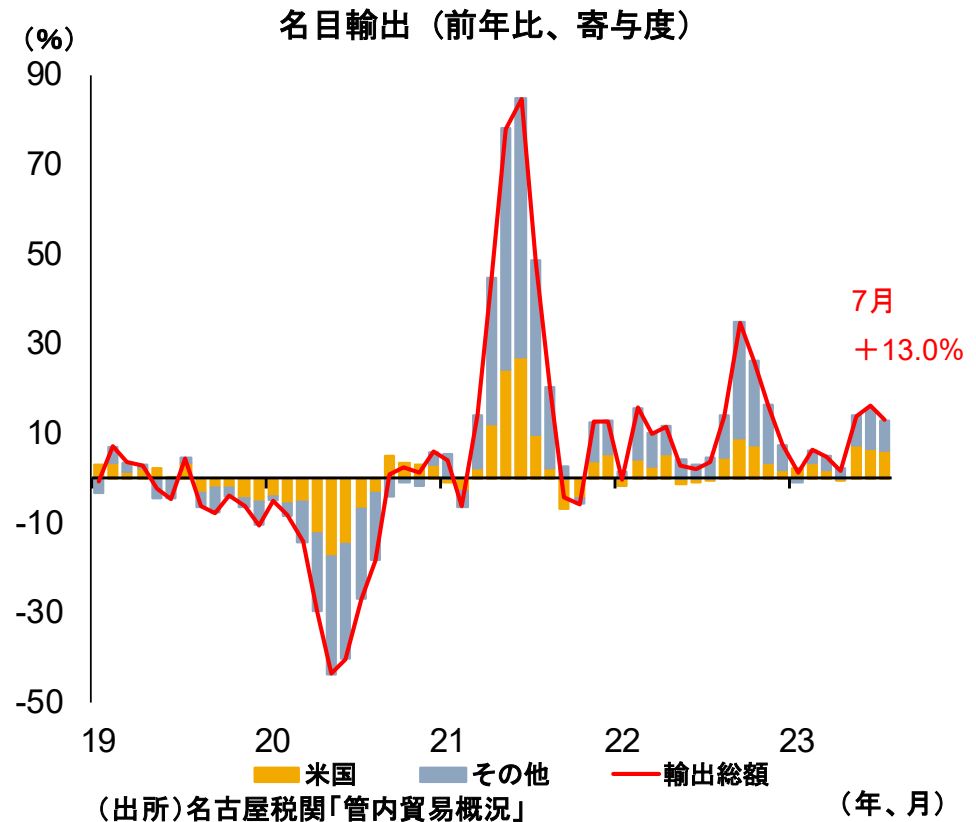
# 輸出

7月の名目輸出額は、前年比+13.0%と18ヵ月連続のプラスとなった。業種別では、自動車と同+44.9%（寄与度+12.9%pt）と大幅増となり、数量ベースでも同+26.4%と増加した。地域別ではアジア向けが減少となったが、米国、EU、その他向けが増加した。

5月の実質輸出指数(季節調整値)は、前月比-0.7%と4ヵ月ぶりに低下。

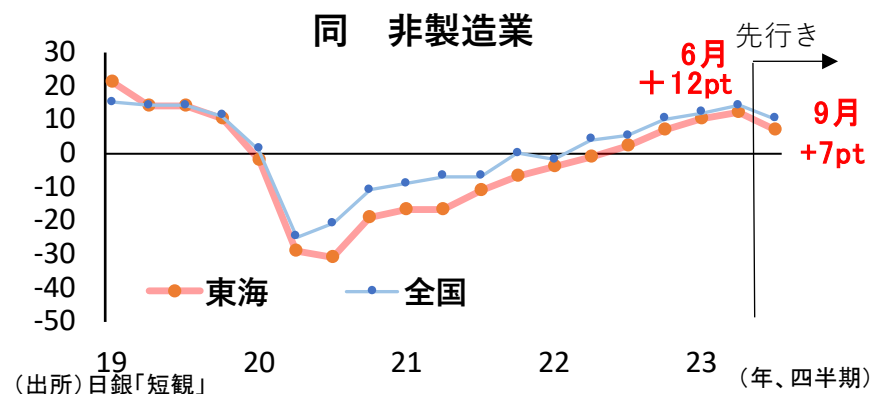
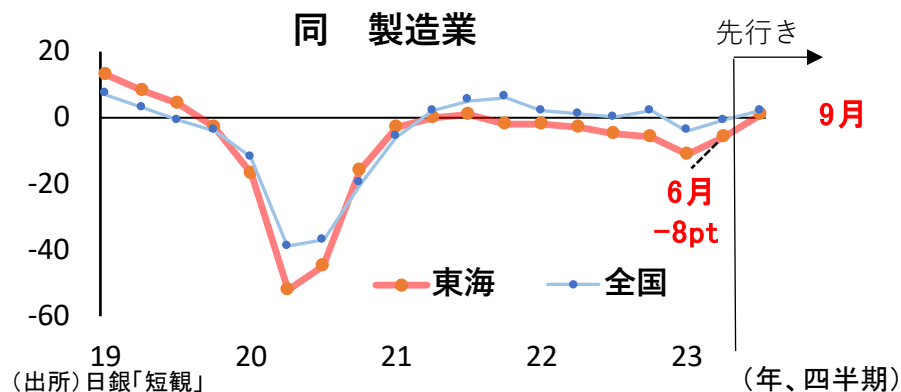
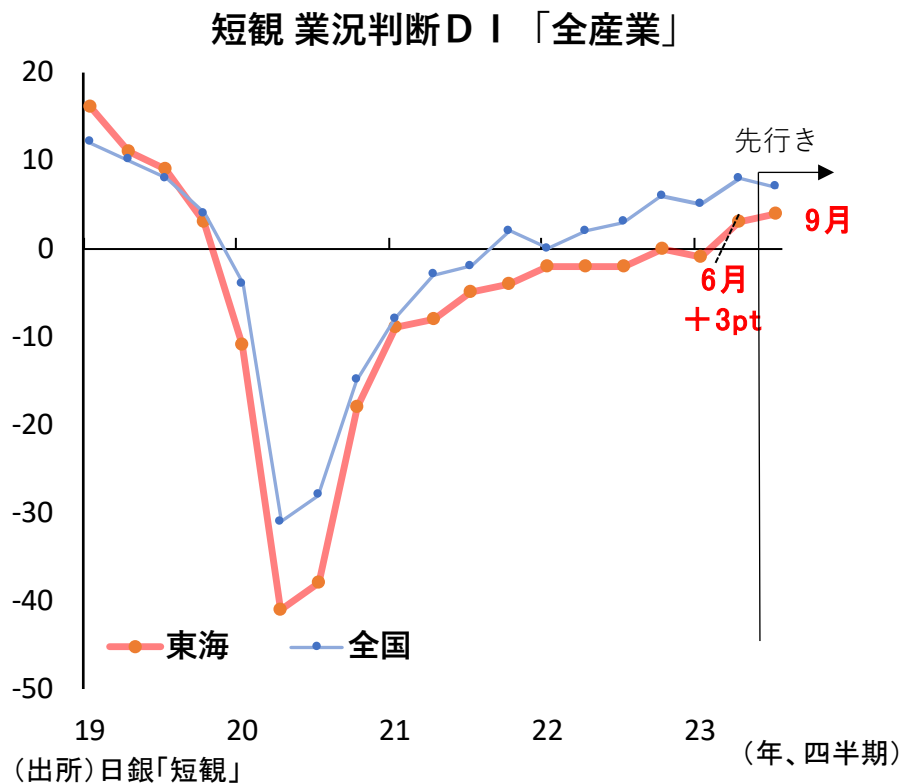


(出所)日銀名古屋支店「実質輸出入」、名古屋税関  
(注)自動車輸出数量(名古屋税関)の季調はMURC (年、月)



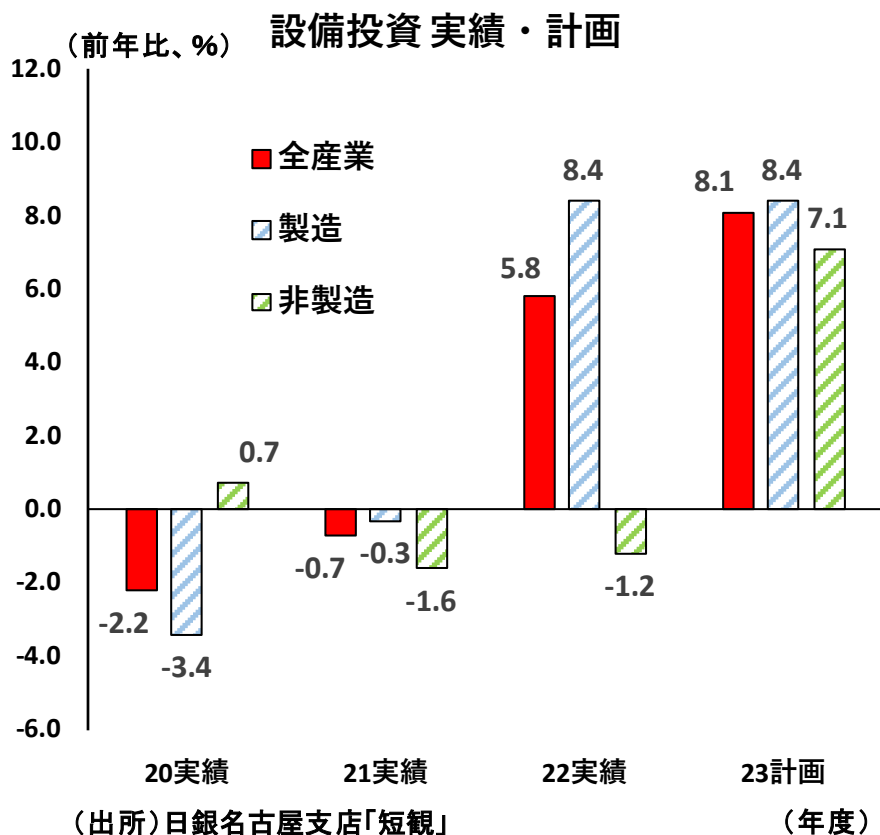
# 企業景況感(日銀短観) ※以下は7/3公表の6月調査。9月調査は10/2公表予定

日銀短観6月調査の業況判断DIIは、全産業で+3ptと3月調査(-1pt)から改善した。製造業、非製造業ともに改善したが、製造業は「悪い」超、非製造業は「良い」超となった。製造業では自動車は改善する一方、はん用機械、電気機械が悪化した。非製造業では、宿泊・飲食サービスが改善した。先行きについては、製造業で改善、非製造業で悪化を見込んでいる。



# 設備投資（日銀短観） ※以下は7/3公表の6月調査。9月調査は10/2公表予定

日銀短観6月調査によると、23年度の設備投資計画は、製造業で前年比+8.4%、非製造業で同+7.1%と前回調査から上方修正となった。製造業でははん用機械、生産用機械、電気機械などが大幅増の計画、非製造業では卸・小売り、対個人サービス、宿泊・飲食サービスなどが大幅増を見込んでいる。



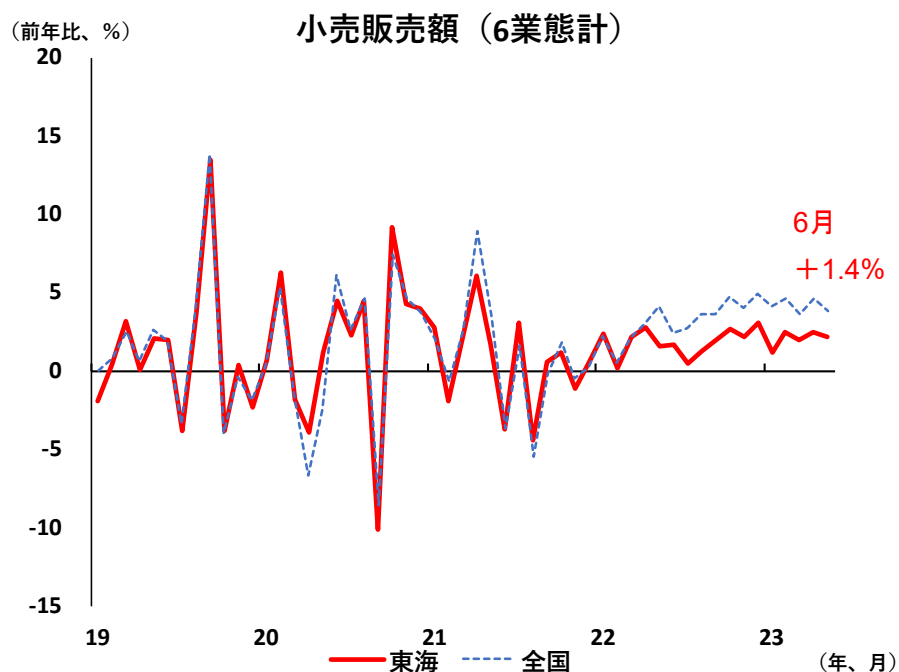
設備投資額（前年比%）

	22年度実績	23年度計画		
		今回調査	（前回調査との差異）	前回調査
全産業	5.8	8.1	（ 6.6 ）	1.5
製造業	8.4	8.4	（ 7.2 ）	1.2
非製造業	-1.2	7.1	（ 4.8 ）	2.3

## 個人消費(小売売上、自動車販売)

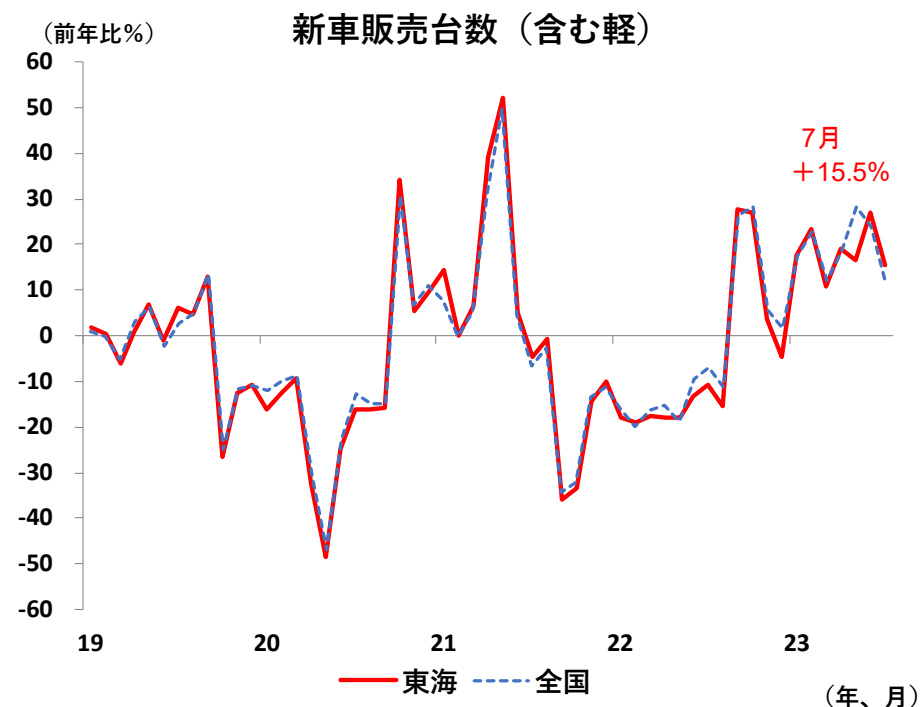
6月の小売販売額は前年比+1.4%と19カ月連続でプラスとなった。先行きは、物価上昇の影響が懸念されるが、ウィズコロナの定着により持ち直しの動きが続くとみられる。

7月の新車販売は、前年比+15.5%と7カ月連続でプラスとなった。水準はコロナ前を下回る状態が続くものの、持ち直しの動きがみられる。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計



(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

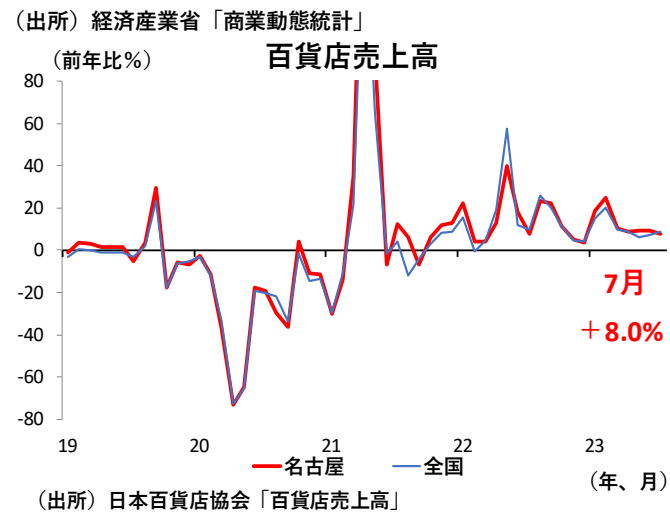
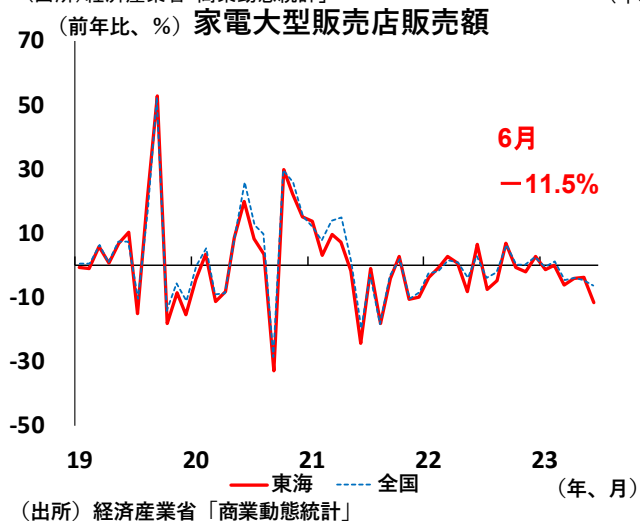
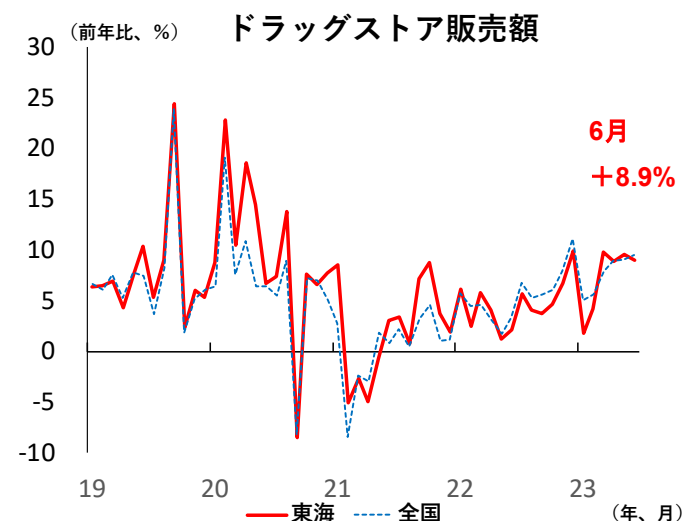
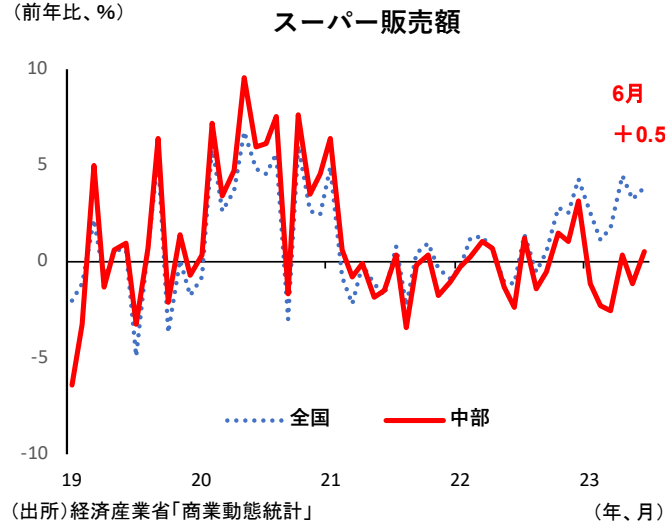
全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」



# 個人消費(業態別)

6月の業態別小売販売は、スーパー(中部5県)は前年比+0.5%と2ヵ月ぶりに増加した。

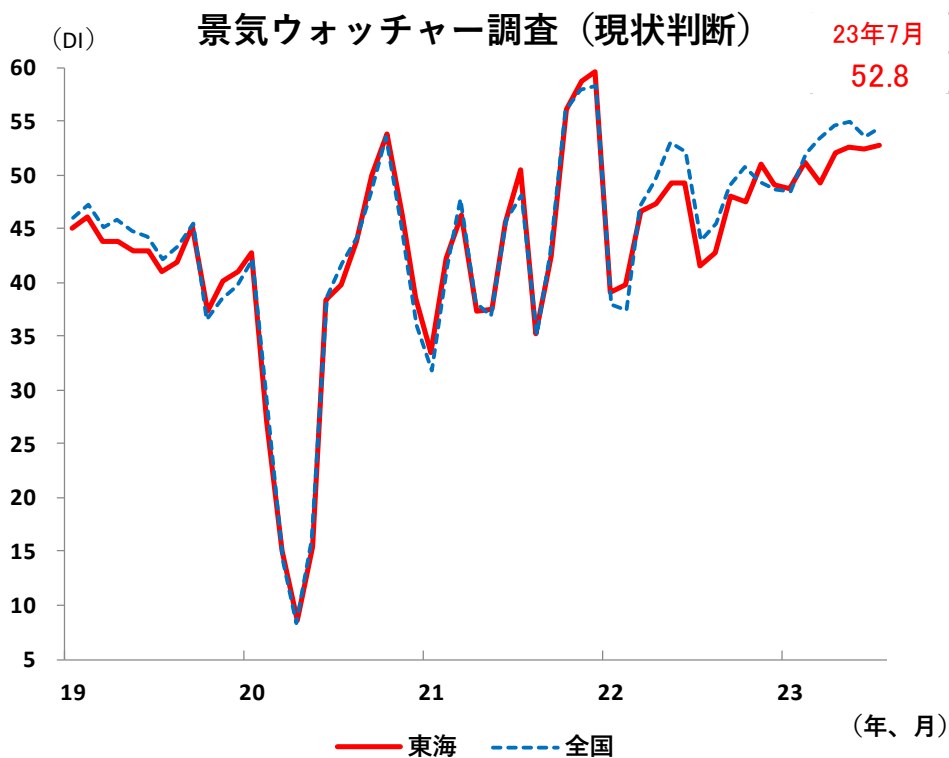
7月の百貨店売上(名古屋)は、外出機会やインバウンドの増加により前年比+8.0%と22ヵ月連続のプラスとなった。(前年比、%)



# マインド・景況感

7月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、前月差+0.4ポイントの 52.8と2カ月ぶりに上昇し、横ばいを示す 50 を4カ月連続で上回った。景況感は持ち直している。

7月の消費者態度指数は2カ月ぶりに上昇した。



(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

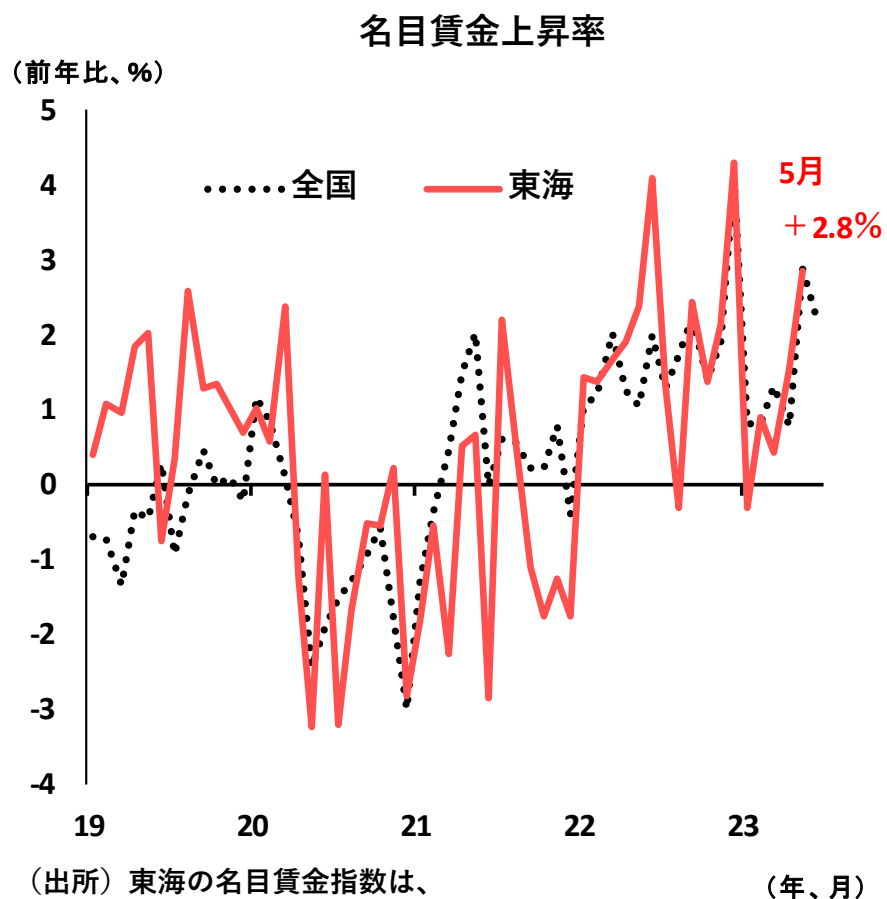


(注)東海の季節調整値はMURC試算

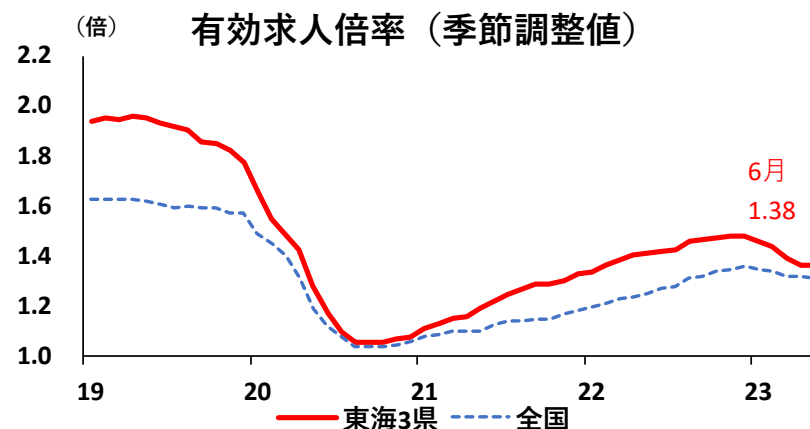
(出所)内閣府「消費動向調査」

# 賃金・雇用

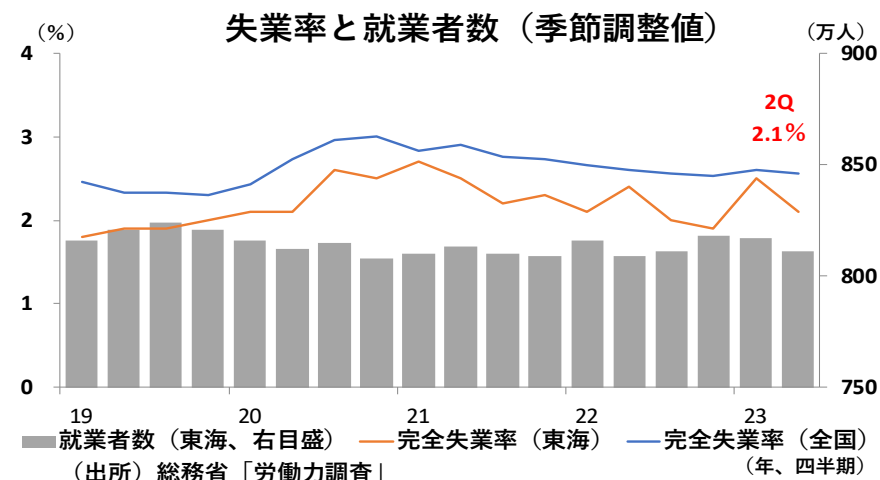
5月の名目賃金は、前年比+2.8%と4ヵ月連続のプラスとなった。三重県は低下したが、愛知県、岐阜県が上昇した。6月の有効求人倍率は1.38と6ヵ月ぶりに上昇。全国に比べ求人倍率が高い状態が続いているが、このところ差が縮小している。23年4-6月期の失業率は2.1%と低下。就業者数は減少した。



(出所) 東海の名目賃金指数は、愛知、三重、岐阜の指数よりMURC作成

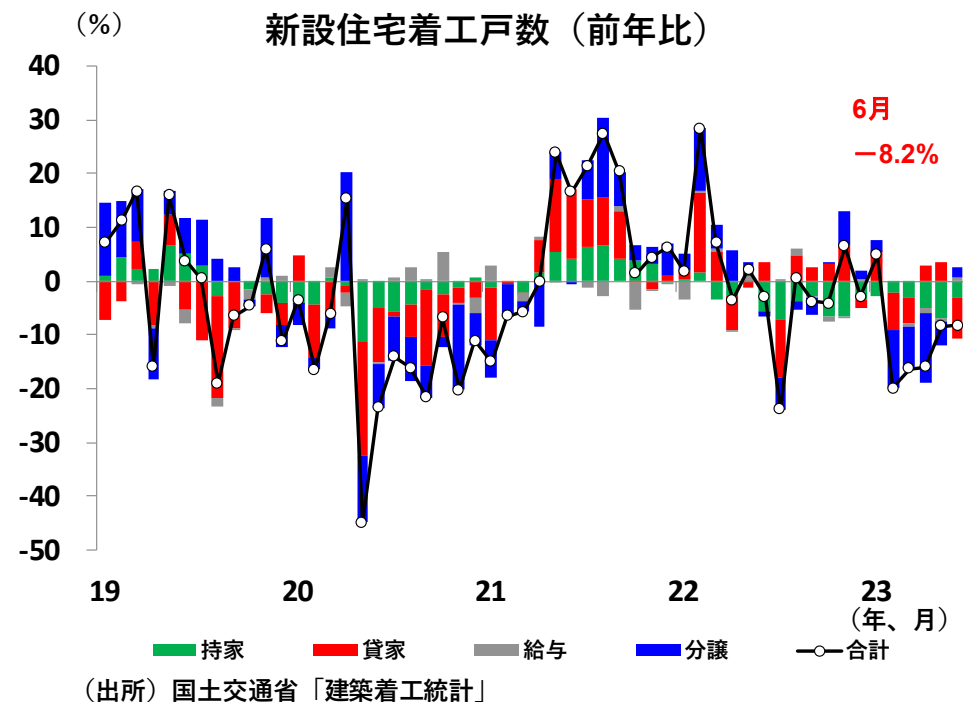
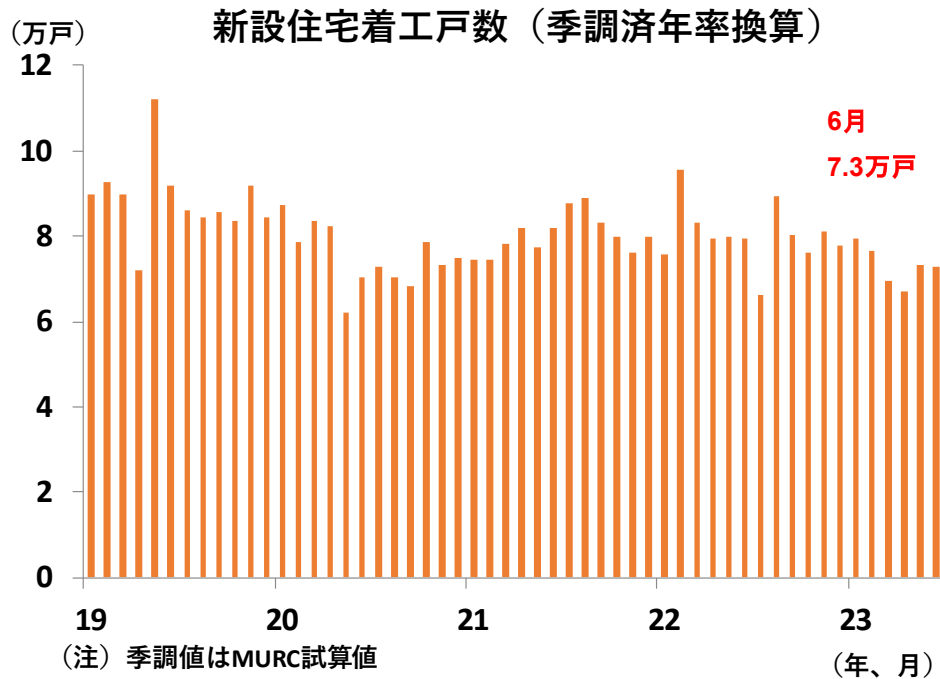


(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」



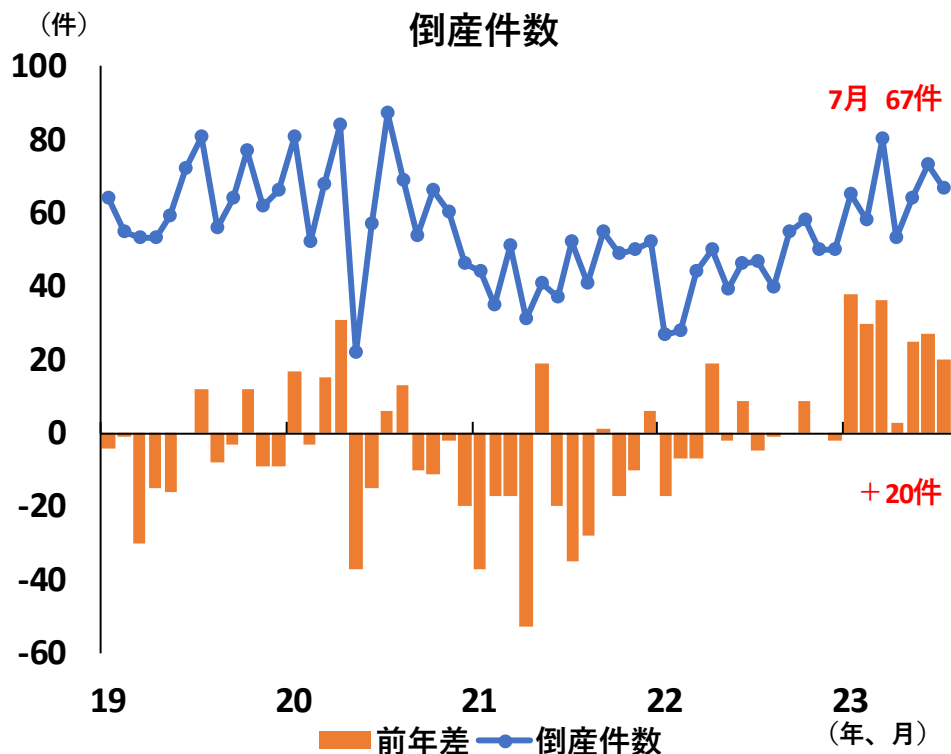
# 住宅投資

6月の住宅着工は季調・年率で7.3万戸と小幅ながら2ヵ月ぶりに減少、5ヵ月連続で前年を下回った（前年比－8.2%）。利用関係別では分譲マンションは増加したが、持家、貸家が減少した。



# 倒産

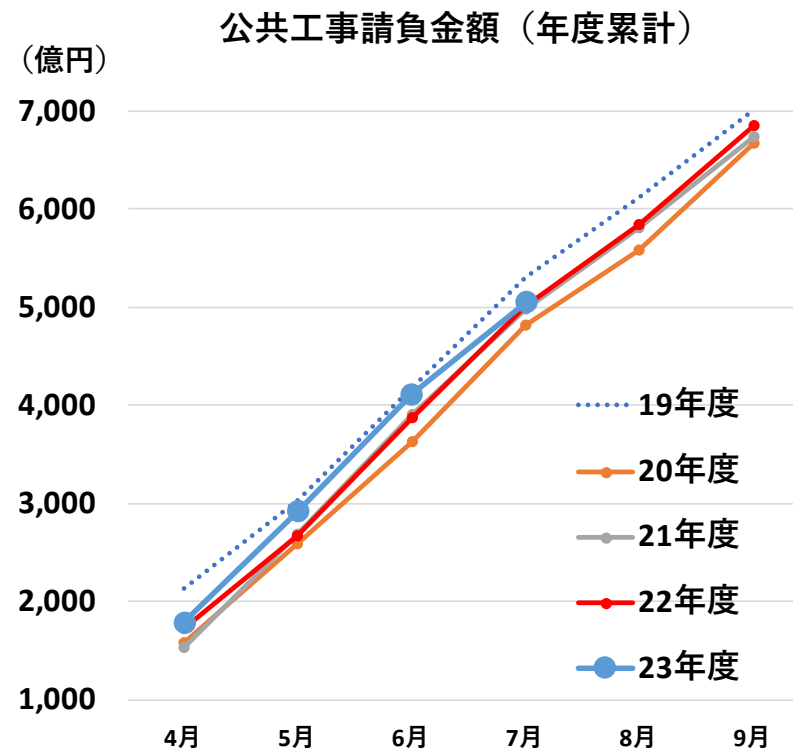
7月の倒産件数は前年差+20件の67件。コロナ前程度の水準となっている。



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

# 公共投資

7月の公共工事請負金額(年度累計)は、前年比+0.8%の5,054億円と例年並みの水準となっている。



(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 塚田 TEL:03-6733-1626 E-mail:[chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、執筆時点で信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください